

平成27年4月7日

No.130

〈異動・転勤〉

新入社員、転勤と規模の大きな会社では、異動の時期であります。中小企業においては、新入社員はたまたまありますが、転勤などはほぼありません。職場内の所属(部・課)替えも、職種替えもほとんどありません。何の目的で人事異動・転勤を行われるのか。Wikipediaによると、「①本人の能力開発や後進の育成など人事面での活性化のため。②あるいは一つの業務に長期間携わることによる慢心防止。あるいは取引先との不正防止のため。③都市部や不人気な僻地に長期間勤務させず、定期的に交代させるため」と説明しております。

以上の中小企業は、同じ場所・同じ業務・同じ仲間をずっと一緒です。マンネリ、競争心・リターンシップの欠如、慣れあい、仲良しがローコスト変化が乏しくなってしまう可能性があります。小さい会社では、異動・転勤の目的を補う工夫が必要で、何をすれば良いのか、簡単ではありませんが、多少、やっている会社はあります。まず聞いて、見てマネをする。社内で皆んなで話し合う。新入社員、異動・転勤、があつらどうなりましたか、考えてみましょう。また、異動・転勤がたいメリットを多くあります。メリットを活かし、不足を補う。私達は、緊張していく為には、変化し、挑戦、成長していかなければいけません。お昼様に喜ばれ、社会に役立って出来るよう仕事に取り掛かります。

事務所は、今日移転します。20年振りの引越しとなります。執務スペースは狭くなりますが、一人ひとりが、迎撃を、コミュニケーションが、こやかになると思います。お互い今まで以上に協力体制も、情報の共有化、新たなスタートとなります。新しい気持ちで、初心に戻ります。引越しがありますので、なかなか出来なかった整理・整頓も出来ます。異動・転勤がたい職場でも、模擬転勤です。このチャンスを活かし、何かイベントを開きたいと考えています。

高林 幸裕